

この度は、新型コロナワクチン接種お疲れさまでした。

ワクチン接種は、ウイルスに対する抗体（免疫）を作るために行うものです。当院では昨年11月よりロッシュ社の Elecsys Anti-SARS-CoV-2-S を使用して新型コロナS型抗体測定をしています（特異度 99.98%）今回のワクチン接種で抗体がどれだけできたのか、測ってみませんか。

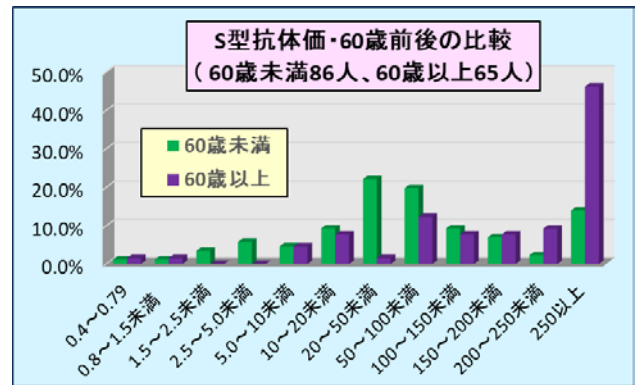
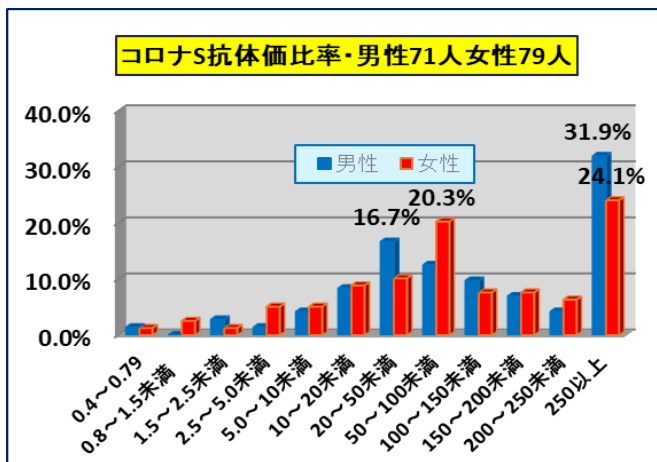
当院では、これまで、新型コロナに感染し、回復された方の抗体やワクチン接種後の医療従事者の抗体を測ってきました。その抗体力価（量）は高低が人さまざまです。どんな人が抗体価が高い免疫力があり、どんな人が低いのかはわかりません。抗体力価が安定する4週間後程度に抗体を測ることをお勧めします。少量の採血検査で測れます。医療保険が使えません。3500円+消費税の実費になります。

一般に抗体は月日と共に低下していきます。2回目のワクチン接種4週間後にS型抗体を測定し、できれば、接種後、長期に抗体がどれほど下がるのか、3ヶ月ごとの測定をお勧めします。

以下、これまでの当院で行って来ました抗体検査の結果をご参照ください。

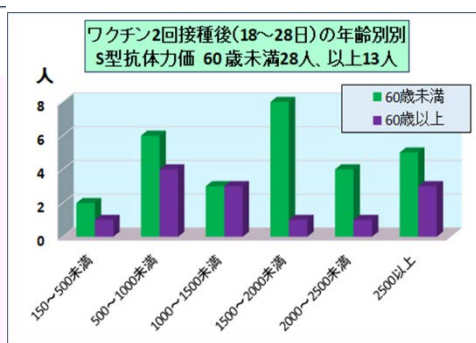
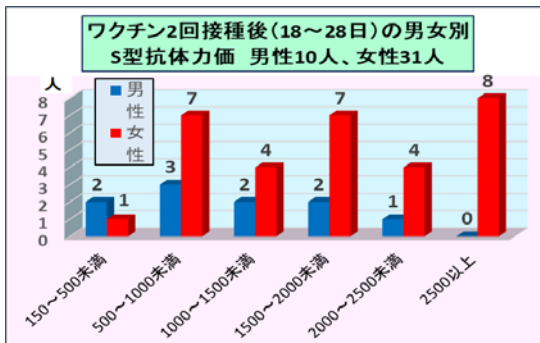
### 1) 新型コロナに感染し、回復された方 151 人の S 型抗体価

S 型抗体価は 0.4~250U まで測定でき、0.4 以下は陰性で、陽性は 0.8~250 以上となります。250 以上は希釈して測定。左図は当院測定のコロナ感染回復者 151 人の男女別抗体価の分布を示しています。男女とも 250 以上が最も多くなっています。右図で、60 歳前後で抗体価を比較すると 60 歳以上の抗体価が高くなっています。しかし、抗体価が低い人もあり、十分な免疫ができていないのか心配です。



### 2) ワクチン2回接種後の抗体価（医療関係者 41 人）

ワクチンを2回接種した医療従事者41人の男女別の抗体価を左図に示しています。全体に、ワクチン接種者は感染者より一桁高い抗体価となっています。男性より女性に高い傾向があります。右図の年齢別では、60歳未満が全体に高く、60歳以上は2500以上の高い人と100台の低い人と両極端となっています。こうして見ると、検査数が少ないので何とも言えませんが、抗体価



を測って見ないと抗体（免疫）が十分できているかどうか解りません。

接種後の抗体価がどれほどか？2回目のワクチン接種された後、4週間後のS型抗体を測定されませんか？